

つうしん  
「うちどく」通信～2017.4～〔筑南小学校 毎月7日はうちどくの日〕

毎月7日は筑南小うちどくの日。うちどくとは、家庭で読書を楽しみ、また、おうちの方とコミュニケーションを図りましょうという取り組みです。うちどくを12ヶ月忘れずに提出できたら、修了式で表彰するので、ぜひがんばって下さい。

※一年生は、5月7日から開始します。保護者の皆様、ご協力よろしくお願ひいたします。

**2年 れの 『ひとつぶのえんどうまめ』 こうみょうなおみ Eコ 聞いた人：お母さん**

れの：手足がなくなったりあったりして、なぞでした。

お母さん：上手に読めました。絵のりんかくが浮き上がっていて、すごいなと思いました。

**2年 きょうしろう 『てんぐのきのかくれが』 青木邦彦 EA 聞いた人：お母さん**

きょうしろう：しゅんくんが、かくれがをつくれたからすごいなと思いました。

お母さん：かくれ家、いいですね。とてもたのしそう。突然、てんぐやようかいの出現はびっくりでしたが、子どもたちも、のびのびようかいさんと遊べてよかったです。きょうしろうも、かくれ家であそびたーい！！だそうです。

**3年 いつき 『しょうたとなつとう』 星川ひろ子 (きょうかしよ) 59ホ 聞いた人：お母さん**

いつき：しょうたがなつとうがきらいと書いてあったけど、その後で好きになったのでよかったです。

お母さん：いつきが納豆を食べられることを初めて知りました。いつきにこの本を読んでもらったせいか、久々に食べたくなくて、さっそく買いに行きました。

**3年 ふみあき 『カブトムシ』 岸田功 48カ 聞いた人：お母さん**

ふみあき：このお話は、カブトムシのことがいろいろと書かれています。じゅえきを食べるのがカブトムシだけじゃなかったのがわかりました。

お母さん：この本には、カブトムシの生活や一生について書かれています。ハチやチョウ、ゴキブリも樹液を食べる木に集まることを知りました。

**3年 しょうや 『しろちゃんとはりちゃん』 たしろちさと (おうちの本) 聞いた人：お母さん**

しょうや：しろちゃんとはりちゃんが、さいご、幸せにカレーを食べたのが楽しそうでした。

お母さん：久しぶりに、家で本を読んでもらえました。楽しい話をありがとう。

**4年 くおん 『せんねんまんねん』 まどみちお (きょうかしよ) EM 聞いた人：お父さん**

くおん：ヤシの実の地ひびきでミミズがとびでるなんて、おかしいです。あと、さいごの春夏秋冬にはどんな意味があるのか100.00%も分かりません。「こ…この話の意味がわからん」と思いました。

お父さん：理屈的ではなく、感覚的にわかりやすい形で「いのちの営み」が描かれていました。しかも、最後に「人間がやってくる前の」とあるのは、その営みを壊そうとしているのが人間なんだよと、皮肉にも受けとれます。

**4年 しんじろう 『こんなにたしかに』 まどみちお 911マ 聞いた人：お母さん**

しんじろう：『こんなにたしかに』で、こう物、植物、動物のことがいろいろ書いてあったので、おもしろかったです。

お母さん：4年生になって、最初のうちどく。めずらしく、分厚い本を借りてきてくれました。これからも、毎月いっしょに本を読みたいと思います。

【4/8 提出分】

提出数/人数 (欠席)

2年	19/19	☆GOOD☆	5年	18/20
3年	20/21		6年	28/28 ☆GOOD☆
4年	24/25		全校	109/113 (1年生を除く)

**5年 りゅういち 『ドリトル先生のこうかいき』 ヒュー・ロフティング (お**

**うちの本) 聞いた人：お母さん**

りゅういち：ドリトル先生みたいに動物と話せるようになりたいなと思っています。

お母さん：ドリトル先生は、動物のことをなんでも知っています。りゅういちも、ドリトル先生のように、動物と話せるようになりたいみたいです。

**5年 なお 『いっすんぼうし』 山下明生 Eヤ 聞いた人：お母さん**

なお：いっすんぼうしがおにとたたかっているのが、すごいとおもいました。

お母さん：いっすんぼうしは、あんなに小さくてもとっても勇気があってたくましいと思ひ、すばらしいなと思ひました。どんなに小さくても、なんでもあきらめずにやるのが大切だと思ひました。

**6年 ゆうみ 『たくさんのドア』 アリスン・マギー EM**

**聞いた人：お母さん**

ゆうみ：これから生きていく中で、ドアを開けて新しいことや、できないことができるようになりたいと思ひました。そして、自分の答えが大きくなって見つかるようにしたいです。

お母さん：今からの人生で、色々と壁にぶち当たることあると思ひますが、自分でドアを開けて前に進んでいってほしいですね、この本のように。

**6年 ひより 『いのちのまつり ヌチヌグスージ』 草場一寿 EK**

**聞いた人：お母さん**

ひより：命って、考えてみればすっごくつながっているんだなと思ひて、家系図を描いてみたくなりました。あと、ごせんぞ様がいたから、私がいかにいるんだなと思ひたので、命を大事にしたいです。

お母さん：この本の絵を見たら、ごせんぞ様の数はすごいんだなと、改めて感じました。さかのぼっていったら、みんな親せきになるんじゃないかな。